

b1020036 中川匠海
指導教員：松原克弥

Takumi Nakagawa

Keywords: Hokkaido, Hakodate, Kamedanakano, FUN

なお、章立てはあくまでも参考であり、これに限らない。

未来大学のカリキュラム・ポリシー <https://www.fun.ac.jp/curriculum-policy> のうち、学生所属コースの項に書かれている卒業研究に関する記述を参照。

句読点は「、」「。」とする。「、」「。」は使用し

ない．アブストラクトなど英文表記の部分については，スペルチェックプログラムによるチェックをする．

4 提案する理論

4.1 数式

数式による記述が必要な場合は，式番号を適切に参照しながらまとめること．

4.2 図・写真

読者の理解を助けるため，図や表を効果的に利用すること．図のキャプションは

図 1

のように，図の下に記す．表のキャプションは

表 1

のように，表の上に記す．

5 実験と評価

6 考察

7 結言

参考文献

- [1] , システム情報科学会論文誌, 2, 13-19, 2002.
- [2] A.B.Cdddddd, J. Systems Information Science, 11, 1145-1159, 2001.
- [3] × ×, , システム情報科学, 出版, 1999, 20-21.
- [4] E.Fggg and H.Ijjj, Electrical Engineering, KKPress, 2003, 281-284.